

ご挨拶



皆さまには日頃から Valqua Technology News をご愛読いただき、心より御礼を申し上げます。

このたび技術総合研究所長に就任しました、能勢正章です。入社以来30年間、当社開発部門にて新商品、新技術開発に携わってきました。経営理念にもある独創的技術に拘り、より一層の磨きをかけて、強固な技術基盤の構築に努めてまいります。

さて、当社は、前中期経営計画“New Frontier 2023”（NF2023）を終え、本年度から、2027年の創業100周年に向けた新たな3か年の中期経営計画として、NF2026をスタートさせています。現在の世界情勢に目を向けると、気候変動、環境保護、地政学的な緊張などの様々な分野で急速かつ複雑な変化が生じ、また社会の多様性などの重要性も認識され、ますますグローバルな課題解決に向けた取り組みが重要になっています。そのような環境の中、技術分野では、人工知能（AI）、ブロックチェーン、量子コンピューティングなどによるデジタルトランスフォーメーションの進展や、クリーンテクノロジーなどによる持続可能な未来を実現する技術革新が求められています。

NF2023ではCOVID-19の影響、更には原材料・エネルギー価格高騰などの逆風下の中、全社が一丸となって取り組んだ結果、概ねの目標が達成されましたが、地政学リスクの増大や破壊的なデジタル技術への対応など、多くの経営課題にも直面しています。このような環境下に於いても、当社は継続して技術による新たな価値創造という本質的な目線に拘り、ステークホルダーの最高満足に向けた活動に邁進してまいります。研究開発部門においては、シールエンジニアリングと材料設計の分野で培ってきた当社コア技術を活用した新規商品開発、更にはデジタルによる様々なソリューション活動によって事業に貢献し、その先の未来へ繋いでいく重要な役割を果たしてまいります。

今号のテクノロジーニュースでは、当社のコアビジネス商材（ハード）及びデジタル（サービス）に於いて、当社の技術者たちが日々の研究と開発において培った知見と成果の一端を読者の皆さまにご紹介いたします。モノづくりの現場における実効性の高いAIの活用法「使えるAIを作るコツ」、樹脂加工部品における見積り・発注のWEBクラウドサービス「Quick Value」の新機能、AIを用いた異常検知システム「VHERME」、ライニング配管で低締付力かつ高い圧縮量を可能とするシートガスケット「No.7027」、食品衛生法の法改正に適合したグランドパッキン4製品を紹介させていただきます。また、当社サプライチェーン強化の取組みとして、主力製品の一つであるライニングタンクを主体とする新たな工場の紹介も併せて取り上げています。

当社は今後も、これまでの「ビジョナリー経営」、そして今年度から新たに加えた「Well-Being経営」により、更に活性化したチャレンジングな研究開発組織へと進化させ、既存の事業領域の更なる技術深化と新たな要素技術探索を実践し、継続的な事業成長を実現してまいります。

今後とも、バルカーテクノロジーニュースを引き続きご愛顧いただきますよう、よろしくごお願い申し上げます。

技術総合研究所長 能勢 正章